

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	愛媛県	事業実施主体	愛媛県、今治市、上島町	地域再生計画名	しまなみ、ゆめしま、とびしま 3 海道を支える港づくり計画
計画期間	平成27年～令和3年	評価責任者	愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課長、今治市建設部港湾漁港課長、上島町産業建設部農林水産課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値			最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価	
	指標 1	指標 2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数	達成数					
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	漁獲量の維持	3,163t	H24	3,163t	H29	1,493t	3,163t	R3	666t	△	2	1	大口の養殖業が市場の需要変動に追隨して撤退したことなどにより、漁獲量が減少した。
	指標 2	観光交流人口の増加	46,400台	H25	51,600台	H29	76,682台	54,400台	R3 (R元)	30,865台 (64,164台)	○	2	1	漁港の係留施設の整備の効果及びその他の取組により、しまなみ海道沿線のサイクリングを楽しむ環境が整いつつあり、レンタサイクル利用者は順調に増加していたが、令和2年度に発生した新型コロナウイルス感染症より、利用者が激減した。なお、感染症発生前の令和元年度においては、目標を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1													
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (H29)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（伯方港）		外郭施設 係留施設	—	外郭施設 係留施設	各施設整備は、計画期間前半は予算確保できず進捗が悪かったが、後半は概ね計画通り順調に進捗し完成した。								
	漁港施設（宮窪漁港、小大下漁港、宗方漁港）今治市		係留施設	係留施設	係留施設	各施設整備は、概ね計画通り順調に進捗し完成した。								
	漁港施設（鯨漁港）上島町		係留施設	係留施設	係留施設	各施設整備は、概ね計画通り順調に進捗し完成した。								
その他の事業	愛媛マルゴト自転車道整備事業		県と市町が連携し、サイクリング26コースを設定し、ブルーライン、コース案内板等を整備し、安全で快適なサイクリング環境の整備を行っている。			サイクリストのレベルに応じたサイクリングコース紹介や、コースの動画を提供する愛媛マルゴト自転車道ホームページなど、充実したソフト対策と相乗効果により、瀬戸内しまなみ海道を中心としたサイクリングパラダイスが定着しつつある。								
	漁協まつり		地元で水揚げされた鮮魚や加工品を低価格で販売しているほか、お魚料理教室など、地産地消活動を積極的に行っている。			今治市内の愛媛県漁協11支所で構成する今治地区漁業協同組合協議会により、魚食普及を推進することを目的に平成18年から始まり、周辺地域からの参加者も多く、約8,000人の参加者で賑わい、今治市の大きなイベントとして根付いている。								
	上島架橋整備事業（岩城橋工区）		離島で構成する上島町の一体化を支援するため、4島を3橋梁で結ぶ事業で、弓削大橋、生名橋は完成しており、岩城橋の整備を進めている。			5径間連続鋼・コンクリート混合斜張橋、橋長735.0m、道路幅員5.5(7.5)mの岩城橋は、2022年3月20日開通。弓削島、佐島、生名島、岩城島を結ぶ「ゆめしま海道」が橋でつながることになり、島民の日常生活の利便性向上はもちろん、多島美を楽しむことができるサイクリングコースとしても期待されている。								
計画外で独自に実施した事業	サイクリングしまなみ		サイクリング実行委員会（愛媛県、今治市、上島町等で構成）主催により、しまなみ海道にて、高速道路を規制してサイクリングを楽しむイベント			島と島をつなぐ個性あふれる橋を含む高速道路の走行がすべてのコースに含まれており、普段は自動車でしか走ることができない道路で、開放感あふれるサイクリングを楽しむことができる。令和元年11月に国から「ナショナルサイクルルート」の一つとして指定され、日本を代表し世界に誇りうるサイクリングコースでもある「瀬戸内しまなみ海道」を舞台に、国内外から7,000名の参加者を迎えて国際サイクリング大会を開催している。穏やかな海に、たくさんの小さな島々が浮かぶ風光明媚な瀬戸内海を駆け抜けるサイクリングロードは、「サイクリストの聖地」として広く世界に知られている。								
④評価方法	地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3 海道を支える港づくり計画」検討会													
⑤事後評価の公表方法	愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に実施し、漁港整備では計画的な事業実施及びその他の事業との相乗効果により、数値目標の一つである、観光交流人口の増加に繋がる効果を概ね発現できていると考えている。一方、もうひとつの数値目標である漁獲量の維持について、港湾施設の整備は進めてきたものの、大口の養殖業が市場の需要変動に追隨して撤退したことなどの影響が尾を引いたことにより、漁獲量の維持は困難な見込みである。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、漁港整備に関しては円滑に整備が進み、観光交流人口の増加が目標のほぼ達成が見込まれる。このため、引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進していきたい。一方、港湾整備に関しては、計画期間前半は事業費の確保が困難な状況が続いたこと、および、大口養殖業者の撤退という港湾整備と無関係な要因による漁獲量の低下があったものの、後半には計画通りに事業費を確保し事業進捗が回ったため、貨物船や快速艇と小型船の水域分離による、港内の安全性向上による漁獲量回復に期待したいと考えている。													